

会 議 記 録

下伊那南部建設事務所

件 名	平成25年度「遠山郷いい川づくり」説明会	第 1 回 ※参考 第6回会議 H25年3月21日
年月日	平成25年9月5日(木) 18:30～20:00	
場 所	飯田市南信濃自治振興センター	
出席者	「遠山郷いい川づくり」会議：委員 : 15名 (欠席者7名) アドバイザー： 3名 (欠席者1名) 事務局：下伊那南部建設事務所 田代所長、小林整備課長、村松整備第一係長、 関主任、青森技師、高橋技師 (株)ゼンシン：宮下利一(管理技術者)、原田東鶴(担当技術者)	
傍聴者他	2名	
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・(一)遠山川「遠山郷いい川づくり」について ・詳細設計【概要図】 	
会議の主旨	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細設計にあたってのポイント、遠山郷いい川づくりに向けた今後の取り組みについて説明 ・「遠山郷いい川づくり」会議の常設について一部の会議参加者より快く了解を得た。 	
打合せ結果 決定事項 検討事項 保留事項 等	1 開 会 2 あいさつ 長野県下伊那南部建設事務所長 田代幸雄 3 平成24年度までの取り組みについて〈村松係長〉 ・昨年度は「遠山郷いい川づくり」会議を全6回実施してきたが、新年度となり、メンバーが一部変更となったため、昨年度の実施内容について説明。 4 設計の考え方について〈高橋技師〉 (1) 詳細設計にあたってのポイント ① 中橋下流の河床低下対策について ② 水際部～高水敷の設計について ③ 中学校横の河床低下対策について 上記①～③について、現在検討中である詳細設計の内容を説明。 (2) 質疑 ・特になし。 5 遠山郷いい川づくりに向けた今後の取り組みについて ・今年度のスケジュール(工事発注時期～完成時期) ・いい川づくりの維持管理を進めていくにあたって、地域住民が主体となる「遠山郷いい川づくり」会議の常設について提案。 質疑・意見 〈Q〉 工事はどこから施工するのか。中橋下流なのか中学校横なのか。 〈A 村松係長〉 中橋下流は設計にもう少し時間がかかる。予算的にも中学校横の根固めブロックと河床低下対策について実施したい。中橋下流については、早急に実施したいが、10月に自然共生研究センターの専門家から現地をみながらアドバイスを頂く予定。その部分については次年度以降となる予定である。	

	<p>〈Q〉 中橋の河床低下対策としては、帯工をまず2基施工して、その後状況をみながらもう1基増設するということがよいか。</p> <p>〈A 村松係長〉 基本的にはそうだが、最初に考えていた帯工の位置は河川の全体的な流れからすると最適な置となる。しかし、そこで河床全体を上げるのには時間がかかる。また、河床が中橋まで形成されるまでには時間がかかるため、短期的な対策として中橋下流に帯工をまず設置するという方針でいる。そこから下流部は今の現状では安定している。今以上に下がるかどうかは経年変化を見ていくしかない。将来的に河床が下がっていくようであればこの位置に帯工を設置したいということである。</p> <p>〈Q〉 これから「遠山郷いい川づくり」会議を常設していくということだが、とてもよいことである。遠山川は私たちの財産であるため、私たちが財産を守るために一緒になって進めていきたい。</p> <p>〈A 田代所長〉 いい川づくりは、集落の皆様にとって地域づくりにもつながっていく。これから三遠南信道路が完成していく中で、一つの大きなコアとなっていただけであればありがたい。とてもいい意見をありがとう。</p> <p>6 閉 会</p>
--	--